

復興道路10年パンフレット（宮城県版）が完成！

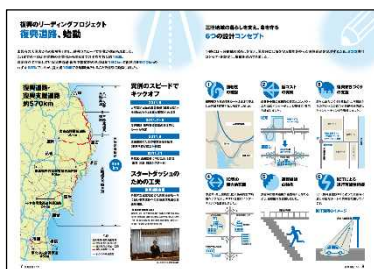
～震災から10年、復興道路と三陸沿岸エリアの歩み～

- 国土交通省では、復興のリーディングプロジェクトとして、八戸から仙台までの沿岸軸を結ぶ三陸沿岸道路「復興道路」と4本の東西横断軸「復興支援道路」の整備を決定し、約570km^{*}の高速道路を10年で全線開通させることを目標に掲げ、整備を進めてきました。 ※震災時の開通済みを除くと残り約410km
- そして、2021年3月6日、宮城県内の復興道路は全線開通を果たし、残る復興道路・復興支援道路もまもなく全線開通を迎えようとしています。
- このたび、震災から10年の節目に、復興道路と三陸沿岸エリアの歩みをまとめたパンフレットを作成しました。これから先、復興道路・復興支援道路が、東北のさらなる復興に向けて、たくさんの方々に活用されることを願っています。

<パンフレットの構成>

1. 三陸という地域 / 2. 東日本大震災 / 3. くしの歯作戦 / 4. 復興道路、始動 / 5. 三陸沿岸道路と東北の主なできごと / 6. 三陸沿岸エリアの交通流動の変化 / 7. データで見る三陸沿岸エリア / 8. 復興道路がもたらす整備効果 / 9. 沿線のリーダーたちの声 / 10. 沿線の100人の声

<ページの例>



震災後から復興道路が整備されるまでの経緯を紹介



復興道路がもたらす整備効果（8テーマ）



知事と沿線12市町のリーダーからのメッセージを紹介



復興道路に対する期待など、沿線の100人の声を紹介

※パンフレットは以下のURLからご覧になれます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkoupanfu/index.html>

（東北地方整備局や沿線の各自治体、道の駅、観光施設等でも配布予定です。）

※イベント時など、大判のパネルも貸出可能です。

<記者発表会：宮城県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL(022)-248-4131

副所長 外崎 高広（内線 205）

調査第二課長 岩館 慶多（内線 451）

復興道路10年 パンフレット

三陸エリアと 復興道路

復興・
復興支援
道路

いよいよ 全長570kmの道路網
全線開通へ

震災・復興10年 進もう！次の東北へ



宮城
県版

2011▶2021

三陸エリアと 復興道路



2011年3月11日。

突如として襲った大地震・大津波が、三陸沿岸エリアから、生活や産業の基盤、そして、多くの尊い命を奪い去りました。千年に一度と言われる「東日本大震災」でした。

震災からわずか8か月。

国土交通省では、復興のリーディングプロジェクトとして、八戸から仙台までの沿岸軸を結ぶ三陸沿岸道路「復興道路」と4本の東西横断軸「復興支援道路」の整備を決定し、約570km(震災時の開通済みを除くと残り約410km)の高速道路を10年で全線開通させることを目標に掲げました。

それからの10年。

各現場では急ピッチで工事が進められる一方、想定外の現場条件や自然災害など幾多の困難にもみまわれました。

そして、2021年3月6日。

宮城県内の復興道路は全線開通を果たし、残る復興道路・復興支援道路もまもなく全線開通を迎えようとしています。

本パンフレットは、震災から10年の節目に、

これまでの復興道路と三陸沿岸エリアの歩みをまとめたものです。これから先、復興道路・復興支援道路が、東北のさらなる復興に向けて、たくさんの方々に活用されることを願っています。

2021年3月

国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所

目次

1	三陸という地域	1
2	東日本大震災	3
3	くしの歯作戦	5
4	復興道路、始動	7
5	三陸沿岸道路と東北の主なできごと	9
6	三陸沿岸エリアの交通流動の変化	11
7	データで見る三陸沿岸エリア	13
8	復興道路がもたらす整備効果	15
	・水産業を応援する復興道路	
	・農畜産業を応援する復興道路	
	・観光を応援する復興道路	
	・企業活動を応援する復興道路	
	・復興まちづくりを応援する復興道路	
	・災害時でも強靱な復興道路	
	・救急医療を応援する復興道路	
	・高速バスや新幹線、道の駅と連携する復興道路	
9	沿線のリーダーたちの声	35
10	沿線の100人の声	37
